

千鳥南町会

保効 一興

千鳥南市民消火隊は昭和五十年二月、当時の酒匂会長の案で結成され、メンバーは少しすつ変わり、現在十一名で活動しています。

「わがまちは自分たちで守ろう」の想いで活動していますが、隊員の高齢化が悩みです。毎月第四週の夜八時より訓練し、雨で出来ない日はボンブの整備や清掃を行っています。毎月必ず顔を合わせています。チームワークを計り、努力しています。

昨年十月頃より、千鳥南町会や隣接町会で数件の放火があり、大芦会長の命で、すでに防犯パトロールは、役員全員で開始していました。加えて消防隊も毎月の訓練後九時半頃より、防火防災パトロールをベスト着用で行っています。毎年の大森七中での操法発表会や、十二月の防災訓練の全員で先頭に立つて町会のお手伝いをします。町会の皆さんが防火防災パトロール、市民消防隊の活動に参加し、安全・安心の町作りをしています。

私は千鳥北町会市民消火隊隊長としてお手伝いしています。高齢者、子供たちが危険な立場に置かれるでしょう。日頃家庭で、心構えとして、身を守る為、必要な物品の置き場所、集合場所、連絡方法など話し合いがあるといいと思います。

それをもとにそれぞれの家族が少しでも安心出来る日々を送れば、災害がもし起きた時、落ち着いた行動が出来るのではないか。守る力は身近にあることから始まります。それがみんなで守る地域の力になつて行くことでしょう。力になりました。

今年三月末で、鶴の木松山公園の整備工事が終了しました。

その工事によって貴重な横穴墳墓が発見され、約千三百以前にこの地に人が生きていたことが証明されました。

昨今、街の様子が変わってきた。集合住宅、新しい戸建

所以がそこにある。

事件が時々有るという。街の安全は自ら守らなければなら

ないと痛感する。

私が子供の頃、家に鍵をかけた憶えが無い。街の安全は

隣近所の人達に依つて保たれていた。良い時代と言われた

所以がそこにある。

事件が時々有るという。街の安全は自ら守らなければなら

ないと痛感する。

私が子供の頃、家に鍵をかけた憶えが無い。街の安全は